

一 般 質 問 通 告 事 項

(令和7年第5回白岡市議会定例会)

第1通告者

14番 遠藤 誠 議員

1 人口減と婚活

- (1) 婚外子が一般的でない日本においては、出産は結婚によっていると考え結婚する機会を増やし人口増を図るという考え方を取るか。
- (2) (1)の考え方に依ると、どう施策を進展していくのか。

第2通告者

8番 石渡 征浩 議員

1 農振法の改正に伴う影響と農用地区域の開発手法について

- (1) 農業振興地域の整備に関する法律（農振法）の改正について、その変更ポイントと埼玉県の対応及び白岡市への影響を伺う。
- (2) 農業振興地域内の農用地区域を開発する場合に、検討可能な手法とそれぞれの手法における立地可能な施設とは何か。
- (3) それぞれの手法について、メリット・デメリット及び実現難易度を伺う。

2 白岡中学校周辺から篠津北東部にかけての地域一帯の開発構想とは

- (1) サラダボウルの誘致及び東急不動産物流センター建設の経緯を伺う。
- (2) サラダボウルの3区画それぞれのゾーニングは。
- (3) 白岡中学校・白岡中央総合病院予定地周辺から篠津北東部にかけての地域一帯をどのように開発する想定か。また、白岡市全体のまちづくりにおいて、当該地域に持たせる役割と期待する効果は何か。

第3通告者

2番 尾嶋 一雄 議員

1 認知症サポーター活躍の場について

- (1) 認知症サポーター養成講座の実施状況と参加総人数は。
- (2) 認知症サポーターステップアップ講座の実施状況は。

- (3) 今後のオレンジカフェの実施予定と認知症サポーター参加協力の具体的な取組をどう考えているか。
- (4) チームオレンジの取組は。
- (5) 市として多様な認知症施策のなかで、どのような方針で進めていく考えか伺う。

2 新春マラソンの競技協力者の確保について

- (1) 令和5年度（第34回大会）と令和6年度（第35回大会）の競技協力者数の各団体（スポーツ協会・スポーツ少年団・スポーツ推進委員）の内訳を伺う。
- (2) 競技協力者の確保に対する方策として、ボランティア確保と業務委託の進捗について伺う。
- (3) 競技協力者の作業削減のため、次の事項を行うことは出来ないか。
 - ア 各係の設営および撤去作業の業務委託。
 - イ 前日準備会時のゴミ拾い作業の取りやめ。
 - ウ 開会式の簡略化。

第4通告者

7番 野々口 眞由美 議員

1 路上喫煙ゼロに向けた更なる対策を問う

安全の確保、マナーの向上、受動喫煙の防止を図り、安全で快適な生活環境を確保することを目的として、路上喫煙について一定のルールを定めた白岡市路上喫煙の防止に関する条例が令和7年4月から施行となった。そこで、本条例の効果と課題について伺う。

- (1) 白岡駅、新白岡駅における禁止区域での喫煙の状況は。
- (2) 白岡駅喫煙所の利用状況はいかがか。また、禁止区域外における路上喫煙やタバコのポイ捨ての状況は。
- (3) 駅周辺を路上喫煙禁止区域として指定したにもかかわらず、新白岡駅は喫煙所が撤去されたままである。喫煙者のマナー違反やタバコのポイ捨てが見受けられる状況について、どのように認識されているか。

- (4) 喫煙者がルールを守れるように、新白岡駅に喫煙所の設置を要望するがいかがか。
- 2 誰もが安心して預けられる保育体制の構築に向けて
- 安心して働ける保育環境をつくるためには、待機児童をなくすこと、保育士が長く働き続けられること、そして保育の質を高めることが欠かせない。そこで、当市における現状と今後の対応策について伺う。
- (1) 現在の待機児童数は。
- (2) 保育所新設状況とそれによる待機児童解消の見込みは。
- (3) 令和8年度から導入される、乳児等通園支援制度、いわゆるこども誰でも通園制度とはなにか。また、この制度を導入することによる課題など、検討していることはなにか。
- (4) 保育所と行政の関わりについて
- ア 気になる子どもの把握は、どのようにしているのか。
- イ 気になる子どもの支援は、どのようにしているのか。
- (5) 保育士の定着について
- ア なり手不足解消に向けての施策は。
- イ 定着支援策として、国の補助金を活用した宿舍借り上げ支援の導入を求めるがいかがか。

第5通告者

4番 細井藤夫 議員

- 1 P F A S（有機フッ素化合物）の影響は
- (1) 直近の水道水へのP F A S検査結果について伺う。
- (2) 8年4月以降、P F A Sの主要2物質が「水質基準」に格上げになる。今後の検査体制について伺う。
- (3) 自然界においてもP F A Sは分解しにくい。市内の水環境での調査について伺う。
- 2 公共交通（路線バス）の維持改善を
- 朝日バス白01系統（白岡駅～菖蒲仲橋間）の減便については、本市の公共交通施策に大きな影響があると考えます。
- (1) 朝日バス減便の理由をどう考えているか。

- (2) 3月の減便では、特に夕方以降の減便が顕著であった。20時01分の便を逃すと、白岡駅で2時間以上空白となる。一層のバス離れを招くと懸念するが、市の考えを伺う。
 - (3) 夜の白岡駅でバスを待つ方のための居場所づくりにSHIROCAFÉを利用してはどうか。営業時間の変更について伺う。
 - (4) 国際興業バスの「ミッドナイトアロー蓮田・久喜」は、コロナ禍の2020年から運休が続いている。改めて再開の要望をしてはどうか。
- 3 二反五畝踏切の安全確保を
- 二反五畝踏切及び周辺道路における自動車の通行について、また、歩行者（特に朝の南小学校、南中学校への通学）の安全性向上について伺う。

第6 通告者

6 番 和 賀 正 義 議員

- 1 駅周辺の活性化について
 - (1) 駅周辺空き店舗出店支援事業補助金の実績と現状を伺う。
 - (2) 補助対象条件を柔軟に見直してみてもいいか。
 - (3) 埼玉りそな銀行跡地等を有効活用して定期的に屋台村やイベントなどを執り行ってみてもいいか。
- 2 地域資源の最大活用について
 - (1) ミズベリング in 柴山沼について
 - ア 4回開催されているが、開催の経緯・目的は何か。
 - イ 協力している団体はどのような団体か。
 - ウ 協力に至った経緯や目的は。
 - (2) 今後の柴山沼の更なる活用について
 - ア ウォーターアクティビティの通年利用はどうか。
 - イ ミズベリング以外の協力団体との連携はどうか。
 - (3) 柴山沼を地域資源として最大活用するために、補助金や助成金などを活用し、栈橋や駐車場などの充実を図ってはどうか。

給食費無償化に備える

来年度から小学校給食費の無償化が始まる。具体的なことが未定な状態ではあるが、準備を始めなければならない時期となっている。現時点でどのような対応をする予定なのか伺う。

(1) 給食の現状を伺う。

ア 保護者の支払額

イ 市が負担している費用と項目

ウ 食材の仕入れ先

エ 白岡産食材の利用状況

オ 有機野菜などの利用状況

(2) 各自治体で給食費は異なると思われる。国の補助金が現状より下回ることも考えられる。この場合、給食の質や量が下がることが懸念される。保護者に差額分を求めるのか。市が負担するのか。

(3) 米や野菜の値上がりと同時に供給にも不安がある中で、食材の安定供給を図ることが求められる。また、身体のもととなるものであり、安心安全なものであることが必要である。食育推進基本計画でも推進している給食の地産地消を進めるべきと思うが、どんな課題があるのか。

(4) 安心安全という観点から、無農薬野菜や有機野菜などを利用すべきと考える。現状の利用は少ないようだが、推進することを考えていかないか。

(5) 食材の地産地消化、無農薬野菜や有機野菜の利用促進を進めるためには、関連する人々、すなわち給食を作る栄養士や調理師、食材を提供する農家、集配業者、消費者となる子どもや保護者、見守る教職員などの意見等を調整するコーディネーターの存在が大きいと言われる。成功している自治体などを積極的に視察し、研究してみたいか。

第8 通告者

13番 菱 沼 あゆ美 議員

1 選挙の投票所などについて

- (1) 夏の参議院選挙では、はぴすしらおかに期日前投票所を設けた。狭いスペースでの工夫や配慮は、どのようにされたか。終盤では待機時間などの懸念もあったと思うが、いかがだったか。
- (2) 期日前投票所を増設してほしいとの市民の声が多い。今回の経験を生かして、次回の選挙で増設できないか。全日でなくとも数日間、地域を移動することなども検討してはどうか。
- (3) 記載台に掲示された名簿の文字が非常に小さく、困惑された声があった。拡大は可能か。

2 独居の障がい者への見守り支援について

- (1) 市では、独居の障がい者の見守り支援として緊急時通報システムを用意している。対象者は、身体障害者手帳1～3級を持っている人である。利用状況を伺う。
- (2) 現状の利用数となっているのは、なぜなのか。また、対象者を独居である全ての障害者手帳を持っている人へと拡大すべきと考えるが、いかがか。
- (3) 他に配食サービスがある。対象者は、身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者のみの世帯、または日中・夜間に家族がいない世帯で調理が困難な人となっている。利用状況を伺う。

第9 通告者

15番 中 川 幸 廣 議員

ラーケーション制度の普及状況と白岡市での導入の考えについて

ラーケーションとは「ラーニング（学習）」と「バケーション（休暇）」を組み合わせた造語で学びを目的として休暇を楽しむことである。一部の自治体では既に導入している。以下伺う。

- (1) ラーケーションの内容と効果について
- (2) 導入を実施している埼玉県内の自治体と県外の自治体の状況について
- (3) 白岡市としての導入の考えについて

第10 通告者

12番 中山 廣子 議員

1 プレコンセプションケアの取組について

- (1) プレコンセプションケアに対する本市の認識について伺う。
- (2) 本市における「生命の安全教育」・「包括的性教育」・「ライフデザイン教育」は、どのように実施されているのか、その現状について伺う。
- (3) 行田市では今年度、プレコンセプションケアを「一生涯の健康づくりの基礎」と位置付け、①未就学期 ②児童生徒期 ③成人期に分け、切れ目のない支援と適切な知識を身に付けられる場を提供する取組を開始した。本市においても、このような取組を進める必要があると考えるが、見解を伺う。
- (4) プレコンセプションケアは、すべての若い世代に共通する健康課題を扱うものであり、ひいては全世代の健康施策の基盤になると考える。本市においても、プレコンセプションケアを軸とした健康増進施策の体制を整備することは可能か、今後の取組について伺う。

2 児童育成支援拠点事業について

- (1) 児童育成支援拠点事業に対する本市の認識について伺う。
- (2) 養育環境等に課題を抱える、家庭や学校に居場所のない児童等に対する支援を、本市はどのように行っているのか伺う。
- (3) 今後の本市における取組の方向性について伺う。

第11 通告者

1番 寺戸 睦子 議員

1 子育て世帯に寄り添った子育て支援について

- (1) 市内で利用できる授乳室の現状と今後について伺う。
- (2) 総合運動公園では、おむつ替えはできるが、授乳室がないという声が市民から聞こえてくる。今後整備すべきかと思うが、いかがか。市としての見解を伺う。
- (3) 授乳室の整備をはじめとして、子育て世帯のニーズを把握し、寄り添うことは、子育て支援の重要な課題である。子育て支援機能を有する「はぴモ」のアンケート機能を活用し、最近ニュースでも取

り上げられている子ども達の体験不足解消のための一助として、学校外教育バウチャー導入など、的確な市民ニーズの把握に努め、その結果を子育て施策に反映させていくべきかと思うが、いかがか。

2 菁莪中学校について

菁莪中学校について、現状と今後について伺う。

- (1) 各学年の生徒数、学級数及び部活動の数、種類は。
- (2) 小規模化している現状の課題を伺う。
- (3) 適正規模・適正配置実施の令和9年度までの間、現状維持で問題がないのか、市の見解を伺う。

第12 通告者

16番 黒 須 大 一 郎 議 員

1 新白岡九丁目の古代蓮の再生を

- (1) 今年、新白岡九丁目の古代蓮が花はおろか葉も全く無い状況だ。どのような原因で古代蓮が全滅したのか、科学的な知見を持って原因究明の調査をしたのか。
- (2) 観光協会のエリア・ウォーキングマップにも載っている数少ない市内での写真映えするスポットだが、再生する考えは。
- (3) 今後も、市内の数少ない名所等を消え逝くがままにしていくのか。それが第6次総合振興計画の目指す本質なのか。

2 急増した外国人との共生に向けて

市は、地域の外国人が急増した現状をどのように把握し、さらに、今後どのように考え、どう取り組むのか。

3 都市計画税の改定にあたり

- (1) 都市計画税制審議会の諮問で調査・審議をすることになるが、どのような調査をしていくのか。
- (2) 「みんなでつくる自然と利便性の調和したまちしらおか」実現のためとしている。それは具体的にどのような都市計画事業になるのか。
- (3) 市街化区域の篠津地区には、都市公園や歩道がある市道は無く、未舗装の市道もある。解消されるのか。

第13 通告者

3番 嶋田 友一郎 議員

1 カーボンニュートラルの実現に向けて

- (1) 本市は2023年6月にゼロカーボンシティ宣言をし、2050年までにカーボンニュートラルを目指すことを宣言した。その実現に向けた取組について直近の達成状況を伺う。
- (2) 2026年3月公表予定の白岡市地球温暖化対策実行計画区域施策編の策定について進捗状況を伺う。どのように策定するのか。現時点における計画の見込みは。
- (3) カーボンニュートラル実現には、CO₂排出抑制とエネルギー利用の効率化だけでは到達不可能である。次の提案について伺う。

ア CO₂吸収利用等カーボンリサイクルについて

イ 農政と連携、横断した取組について

2 小規模特認校実施に対する総括について

学校運営や教育活動では、教育効果をより高めるためにPDCAサイクルの活用が推進されている。令和6年3月第1回議会定例会での市立学校設置条例の一部を改正する条例に対する附帯決議においても、小規模特認校実施に対するC（評価）として総括を実施することを求めた。その総括の内容について伺う。

3 白岡市立中央公民館の利用について

- (1) 社会教育法の第5章には、公民館の設置目的や目的達成のために行う事業、行ってはならない行為などが定められている。本市における公民館の利用に対する目的・事業の取扱いについて伺う。
- (2) 主権者教育を目的とした公民館の利用について伺う。

第14 通告者

5番 浜口 清志 議員

公立図書館の基本を踏まえ指定管理者制度の導入はなじむか。

- (1) 公立図書館の役割は、住民一人ひとりの資料要求に対する個別対応を基本とし、住民の公平な利用の観点から、全ての住民に無料で基本的サービスを保証することを目的としている。さらに、地域に根ざした知の拠点として継続的に資料・情報を収集・保存し、提供

すると同時に、地域コミュニティ及び地域文化の拠点としての役割も担っている。指定管理者制度を導入した場合、目的や役割を担保できるか。

(2) 公立図書館の管理運営の基本は、地方公共団体が設置し、教育委員会が管理することである。図書館事業は、継続性、安定性、公平性が求められることから、住民一人ひとりへのサービスの向上を目指している。指定管理者制度を導入した場合、これらを担保できるか。

(3) 指定管理者制度の問題点について、次の点を伺う。

ア 制度上の問題として、指定管理期間が5年契約で短いと思うが、どう考えるか。

イ 手続上の問題として、事業者選定はどのようにするのか。

ウ 設置者にとっての問題として、政策決定と運営主体が分離していることは維持発展を疎外させると考えるが、いかがか。

エ 利用者にとっての問題として、司書が住民をはじめ関係機関との密接な連携を図るには、短期間の契約では困難と考えるが、いかがか。

(4) 指定管理者制度導入の教育長の考えは。